

定期点検調査（その1） 橋梁諸元

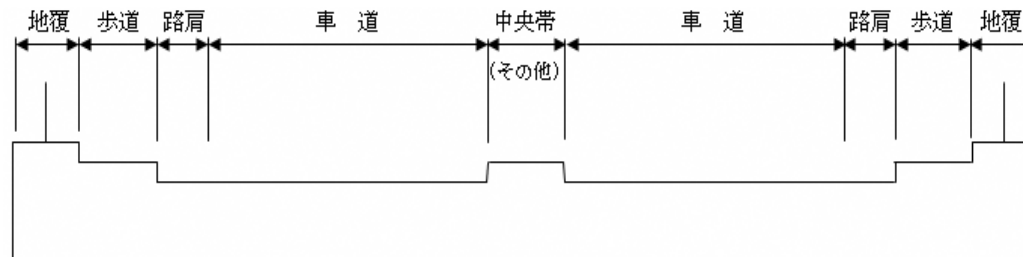
点検日： 2017年10月17日

橋 梁 番 号	050002	径 間 数	2	事務所名	吉田総合センター	点 検 者	㈱荒谷建設コンサルタント
フリガナ	アヲハラバシ			所在地	雲南市吉田町吉田～雲南市吉田町吉田	責任者	福田 真佐夫
橋 梁 名	栗原橋					路線名	金屋子神社線

橋	長	15.500m	下部工形式	A1	重力式橋台	備考 (補修履歴等)	
橋	種	P C 橋		A2	重力式橋台		
上部工形式		桁橋		橋脚	小判柱橋脚（R C）		
床版材料	コンクリート系		基礎形式	(最大支間部の根入の深い方を記入)			
				出典：			

※基礎型式については、その出典(橋梁調書・台帳、設計図書、推定等)を記入のこと

架設年月日	S54. 03. 01		活荷重・等級		適用示方書		昭和3 1 年示方書			
交通条件	調査年		0年		大型車混入率（平日12時間）		0台			
	交通量(平日12時間)		0台		荷重制限		0. 00			
幅員構成	車 道		歩 道		路 肩	地 覆		その他	合 計	
幅 員	0. 00m		0. 00m		0. 00m		0. 00m		0. 00m	
面 積	0. 00㎡		0. 00㎡		0. 00㎡		0. 00㎡		0. 00㎡	
海岸からの距離		500m超		緊急輸送路の指定		無		優先確保ルートの指定		無
粗骨材 （産地・岩石種類）		上部工		下部工		塗装仕様		下塗り	中塗り	上塗り
交差条件		吉田川				第3者被害予防		□有		□無

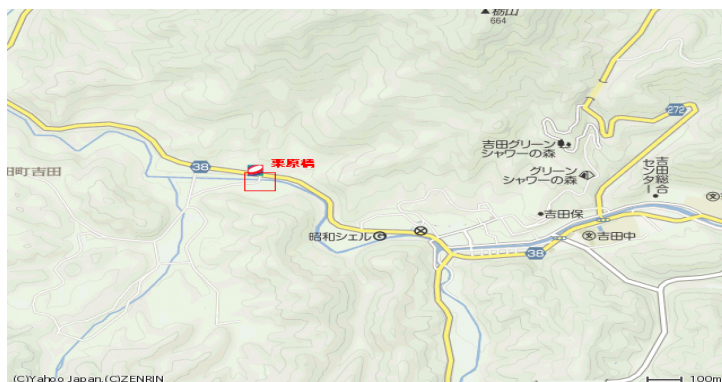


定期点検調書（その2） 橋梁一般図

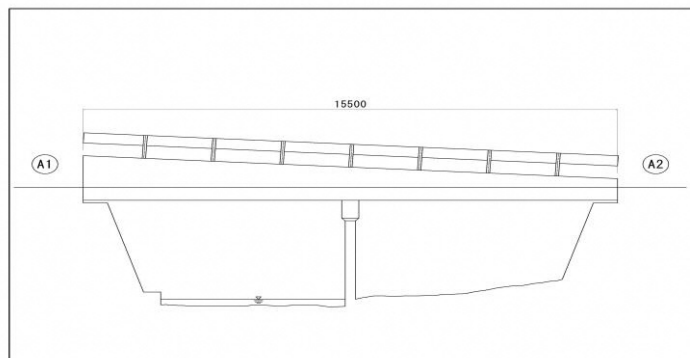
点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アハラバシ 栗原橋	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路 線 名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合センター
----------	--------	-------------	--------------	-----	-----------------------	-------	--------	------	----------

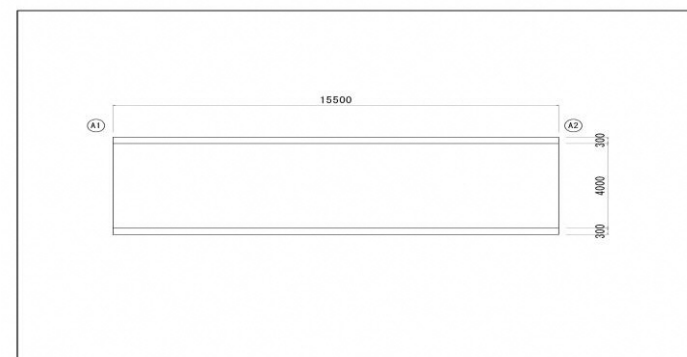
位置図



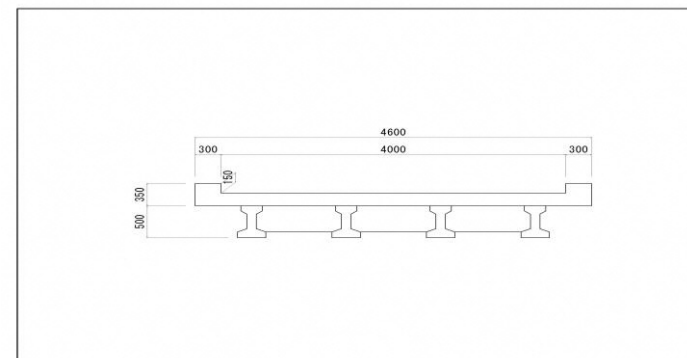
側面図



平面図



断面図



出典：

※橋梁一般図の出典先（橋梁調書・台帳、設計図書、簡易作図等）を記入のこと。

定期点検調書（その3） 橋梁状況写真

点検日： 2017年10月17日

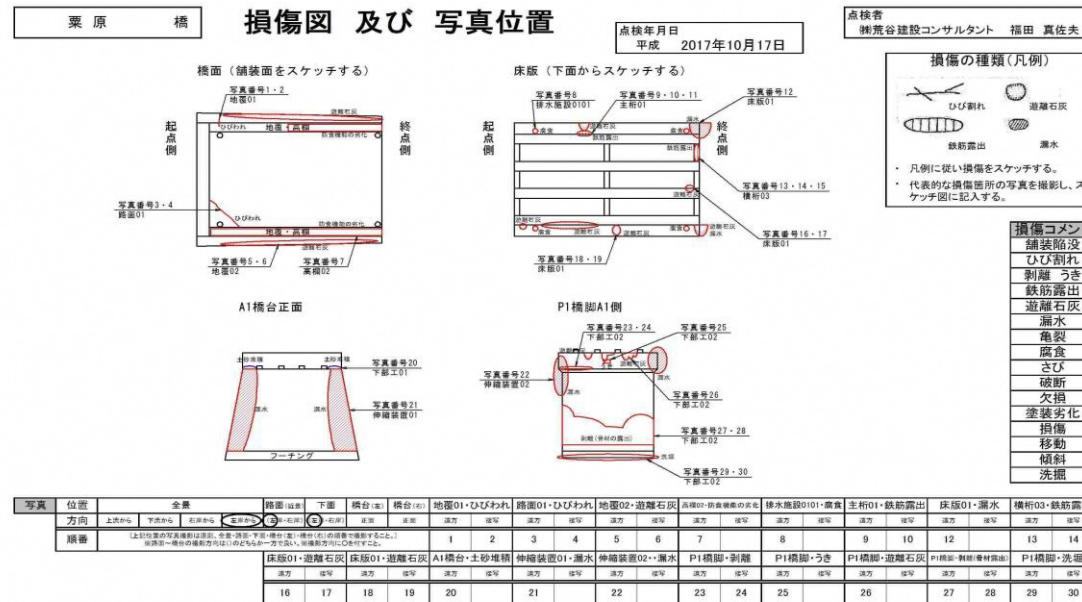
橋梁 番号	050002	フリガナ	アヲハラバシ	径間数	2	所在地	雲南市吉田町吉田 ～雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合センター
		橋梁名	栗原橋								
現 地 状 況 写 真	起点→終点						終点→起点				
											
	上流→下流						下流→上流				
											

定期点検調書（その4） 損傷評価

点検日: 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ	アヲハラバシ	径間 番号	1	所在地	雲南市吉田町吉田 ～雲南市吉田町吉 田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合センター
		橋梁名	栗原橋								

判定区分		変状の種類
床版	Ⅱ	遊離石灰
主桁	Ⅰ	鉄筋露出
横桁	Ⅰ	鉄筋露出
橋台・橋脚	Ⅲ	剥離、洗掘
支承	Ⅰ	
排水施設	Ⅱ	腐食
伸縮装置	Ⅱ	漏水
高欄・地覆	Ⅰ	遊離石灰
路面	Ⅰ	ひびわれ



コ メ ン ト	<p>(上部工) 主溝(PI管)と上部床版との接続部から溢漏を石が生じている。橋面から水が流出していると考えられるため、経過観察を行う。</p> <p>(下部工) 橋脚柱の上流側及び下流側の側面に著しい割傷(骨材露出)が生じている。洪水時の流水・流石・石等の衝突によりさらに割傷が進行する恐れがあることから早期に修繕が必要である。橋脚には底板下に洗掘も生じており、これも洪水時にさらに洗掘が進行する可能性があることから、詳細調査により形状・構造を確認し、洗掘対策を実施する必要がある。</p> <p>(補修施設) 排水溝・底版が露出している箇所があり、橋面より排水性は低いと観察されるため、経過観察とする。</p> <p>(伸縮装置) 簡易な目地材程度の伸縮であるので、非排水効果はなく桁下に雨水が発生している。</p>	仮観測判定
	<p>Ⅰ</p> <p>Ⅱ</p> <p>Ⅲ</p> <p>Ⅳ</p>	

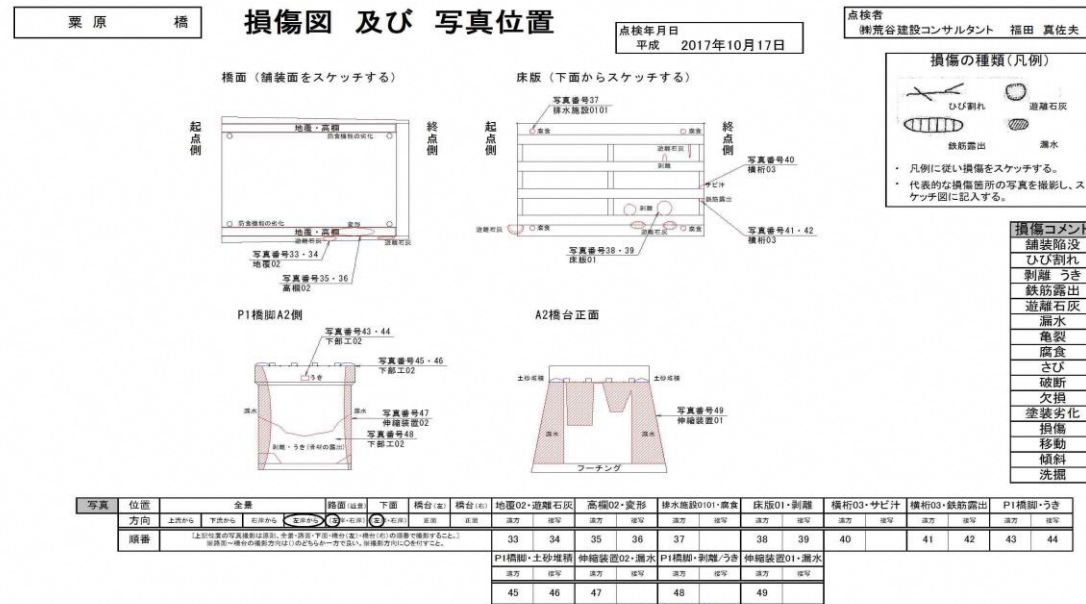
部材名		判定区分	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記入)	備考 (写真番号・位置等)
上部構造	主桁	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	遊離石灰	写真0・10
	橋桁	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		写真13・14
	床板	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		写真12, 16・17, 18・19
下部構造	主桁	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	土中埋設、剥離、空洞、劣化、コンクリート、洗杭	写真20, 22・24, 25, 26, 27・28, 29
	支床部	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
	排水施設	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		腐食
その他	伸縮装置	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	漏水	写真21, 22
	高欄	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		写真7
	路面	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		写真3・4
	地覆	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		写真1・2, 5・6

定期点検調書（その4） 損傷評価

点検日: 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ	アワハラバシ	径間 番号	2	所在地	雲南市吉田町吉田 ～雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合センター
		橋梁名	栗原橋								

判定区分		変状の種類
床版	I	
主桁	I	
横桁	II	サビ汁・鉄筋露出
橋台・橋脚	III	剥離
支承	I	
排水施設	II	腐食
伸縮装置	II	漏水
高欄・地覆	II	防食機能の劣化、変形
路面	I	



コ メ ン ト 欄	<p>(上部工) 掘削にササ付が生じており、経過観察を要し。刺蝟(骨材露出)が生じている。洪水時の流水・流木・石等の衝突によりさらに刺蝟が進行する恐れがあることから早期に補修が必要である。</p> <p>(排水施設) 排水管に腐食が発生しているが、古い損傷でもり進行性は低いと観察されるため経過観察とする。</p> <p>(伸縮装置) 簡易な目地材程度の伸縮であるので、非排水効果はなく桁下に漏水が発生している。</p> <p>(高欄) ケーブルのレール部に変形、防食機能の劣化が生じている。</p>	<p>仮総合判定</p>
		<p>I II</p>
		<p>III IV</p>

部材名		判定区分	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記入)	備考 (写真番号・位置等)
上部構造	主桁	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
	橋板	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	サビ付、鉄筋露出	写真40、41・42 写真38・39
下部構造		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	土砂堆積、剝離、うき	写真45・46、48、43・44
	支承部	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
その他	排水施設	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	腐食	写真37
	伸縮装置	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	漏水	写真47、49
	高欄	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	防食機能の劣化、変形	写真35・36
	路面	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
	地盤	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		写真33・34

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日: 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	1	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	1
部 材 名	地 覆
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	
コメント※必記	ひびわれ(L=0.35m/W=0.2mm)が発生(遠方)



写 真 番 号	2
部 材 名	地 覆
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	
コメント※必記	ひびわれ(L=0.35m/W=0.2mm)が発生(接写)



写 真 番 号	3
部 材 名	舗 装
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	ひび割れ等
コメント※必記	ひびわれ(L=1.6m/W=5.0mm)が発生(遠方)



写 真 番 号	4
部 材 名	舗 装
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	ひび割れ等
コメント※必記	ひびわれ(L=1.6m/W=5.0mm)が発生(接写)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	1	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	5
部 材 名	地 覆
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	遊離石灰が発生(遠方)



写 真 番 号	6
部 材 名	地 覆
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	遊離石灰が発生(接写)



写 真 番 号	7
部 材 名	高 欄
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	腐食
コメント※必記	防食機能の劣化が発生



写 真 番 号	8
部 材 名	排 水 管
部 材 番 号	0101
損 傷 種 類	腐食
コメント※必記	腐食による孔食が発生



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	1	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	9
部 材 名	主 桁
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	鉄筋露出
コメント※必記	鉄筋露出(0.05×0.05)が 発生(遠方)



写 真 番 号	10
部 材 名	主 桁
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	鉄筋露出
コメント※必記	鉄筋露出(0.05×0.05)が 発生(接写)



写 真 番 号	11
部 材 名	主 桁
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	鉄筋露出
コメント※必記	鉄筋露出(0.05×0.05)が 発生(接写:補修後)



写 真 番 号	12
部 材 名	床 版
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	漏水・遊 離石灰
コメント※必記	漏水が発生



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

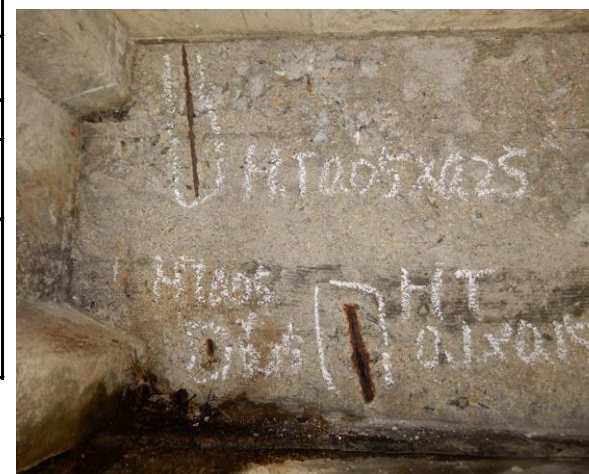
点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	1	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

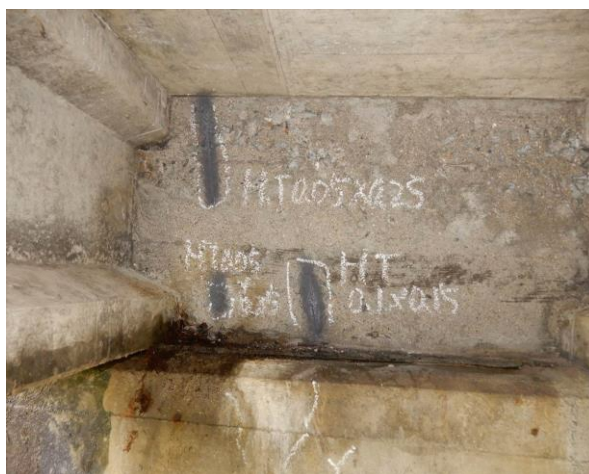
写 真 番 号	13
部 材 名	横 桁・縦 桁
部 材 番 号	03
損 傷 種 類	鉄筋露出
コメント※必記	鉄筋露出が発生(遠方)



写 真 番 号	14
部 材 名	横 桁・縦 桁
部 材 番 号	03
損 傷 種 類	鉄筋露出
コメント※必記	鉄筋露出が発生(接写)



写 真 番 号	15
部 材 名	横 桁・縦 桁
部 材 番 号	03
損 傷 種 類	鉄筋露出
コメント※必記	鉄筋露出が発生(接写:補 修後)



写 真 番 号	16
部 材 名	床 版
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	
コメント※必記	遊離石灰が発生(遠方)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	1	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	17
部 材 名	床 版
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	
コメント※必記	遊離石灰が発生(接写)



写 真 番 号	18
部 材 名	床 版
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	漏水・遊離石灰
コメント※必記	遊離石灰が発生(遠方)



写 真 番 号	19
部 材 名	床 版
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	漏水・遊離石灰
コメント※必記	遊離石灰が発生(接写)



写 真 番 号	20
部 材 名	A 1 橋 台
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	
コメント※必記	土砂堆積が発生



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	1	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	21
部 材 名	伸縮装置
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	漏水
コメント※必記	漏水が発生



写 真 番 号	22
部 材 名	伸縮装置
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	漏水
コメント※必記	漏水が発生



写 真 番 号	23
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	剥離(0.15×1.35)が発生 (遠方)



写 真 番 号	24
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	剥離(0.15×1.35)が発生 (接写)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	1	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	25
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	うき(0.15×0.2)が発生



写 真 番 号	26
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	遊離石灰が発生



写 真 番 号	27
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	剥離(骨材露出)が発生 (遠方)



写 真 番 号	28
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	剥離(骨材露出)が発生 (接写)





※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	1	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	29		写 真 番 号	30	
部 材 名	橋 脚		部 材 名	橋 脚	
部 材 番 号	02		部 材 番 号	02	
損 傷 種 類			損 傷 種 類		
コメント※必記	洗堀(D=400)が発生(遠方)		コメント※必記	洗堀(D=400)が発生(接写)	
写 真 番 号			写 真 番 号		
部 材 名			部 材 名		
部 材 番 号			部 材 番 号		
損 傷 種 類			損 傷 種 類		
コメント※必記			コメント※必記		

※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	2	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	33
部 材 名	地 覆
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	遊離石灰が発生(遠方)



写 真 番 号	34
部 材 名	地 覆
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	遊離石灰が発生(接写)



写 真 番 号	35
部 材 名	高 欄
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	変形・欠損
コメント※必記	変形が発生①



写 真 番 号	36
部 材 名	高 欄
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	変形・欠損
コメント※必記	変形が発生②



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	2	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

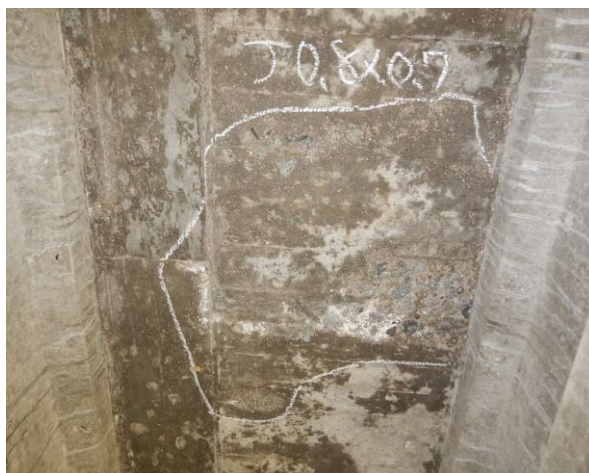
写 真 番 号	37
部 材 名	排 水 管
部 材 番 号	0101
損 傷 種 類	腐食
コメント※必記	腐食による孔食が発生



写 真 番 号	38
部 材 名	床 版
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	
コメント※必記	剥離(0.8×0.7/0.4×0.4) が発生(遠方)



写 真 番 号	39
部 材 名	床 版
部 材 番 号	01
損 傷 種 類	
コメント※必記	剥離(0.8×0.7/0.4×0.4) が発生(接写)



写 真 番 号	40
部 材 名	横 桁・縦 等
部 材 番 号	03
損 傷 種 類	
コメント※必記	サビ汁が発生



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	2	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	41
部 材 名	横 桁・縦 桁
部 材 番 号	03
損 傷 種 類	鉄筋露出
コメント※必記	鉄筋露出(0.15×0.05)が 発生(遠方)



写 真 番 号	42
部 材 名	横 桁・縦 桁
部 材 番 号	03
損 傷 種 類	鉄筋露出
コメント※必記	鉄筋露出(0.15×0.05)が 発生(接写)



写 真 番 号	43
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	うき(0.15×0.15)が発生 (遠方)



写 真 番 号	44
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	うき(0.15×0.15)が発生 (接写)



※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	2	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	45
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	橋座に土砂堆積が発生



写 真 番 号	46
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	橋座に土砂堆積が発生 (撤去後)



写 真 番 号	47
部 材 名	伸縮装置
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	漏水
コメント※必記	漏水が発生



写 真 番 号	48
部 材 名	橋 脚
部 材 番 号	02
損 傷 種 類	
コメント※必記	剥離が発生




※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

定期点検調書（その5） 橋梁損傷写真

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	径間 番号	2	所在地	雲南市吉田町吉田～ 雲南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合セン ター
----------	--------	-------------	---------------	----------	---	-----	-----------------------	-----	--------	------	--------------

写 真 番 号	49		写 真 番 号		
部 材 名	伸縮装置		部 材 名		
部 材 番 号	01		部 材 番 号		
損 傷 種 類	漏水		損 傷 種 類		
コメント※必記	漏水が発生		コメント※必記		
写 真 番 号			写 真 番 号		
部 材 名			部 材 名		
部 材 番 号			部 材 番 号		
損 傷 種 類			損 傷 種 類		
コメント※必記			コメント※必記		

※第三者予防措置を実施した箇所では、処置前と処置後の両方写真を記載すること。

損傷評価のまとめ

点検日： 2017年10月17日

橋梁 番号	050002	フリガナ 橋梁名	アワハラバシ 栗原橋	所在地	雲南市吉田町吉田～雲 南市吉田町吉田	路線名	金屋子神社線	事務所名	吉田総合センター
----------	--------	-------------	---------------	-----	-----------------------	-----	--------	------	----------

対象部材	径間番号					総合
	1	2				
床版	Ⅱ	Ⅰ				Ⅱ
	遊離石灰					
主桁	Ⅰ	Ⅰ				Ⅰ
	鉄筋露出					
横桁	Ⅰ	Ⅱ				Ⅱ
	鉄筋露出	サビ汁・鉄筋露出				
橋台・橋脚	Ⅲ	Ⅲ				Ⅲ
	剥離、洗掘	剥離				
支承	Ⅰ	Ⅰ				Ⅰ
排水施設	Ⅱ	Ⅱ				Ⅱ
	腐食	腐食				
伸縮装置	Ⅱ	Ⅱ				Ⅱ
	漏水	漏水				
高欄・地覆	Ⅰ	Ⅱ				Ⅱ
	遊離石灰	防食機能の劣化、変形				
路面	Ⅰ	Ⅰ				Ⅰ
	ひびわれ					